

はじめに

本市水道事業は、昭和9年（1934年）6月の創設以降、市勢の発展とともに拡張を続けてまいりました。この10年間においては、「安全で安心できる水道水を いつでも いつまでも」を基本理念として掲げ、平成21年（2009年）3月に策定し、平成26年（2014年）2月に見直しを行った「貝塚市水道事業基本計画（第2次アクア計画 C-21）」に基づき、津田浄水場の更新整備や蕎原簡易水道の統合などを実施いたしました。そして、平成29年（2017年）4月には大川・秬谷地区への給水が実現したことにより、水道普及率は100%に達しました。また、近隣地域に比較して安価な水道料金を維持してきました。



しかしながら、水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、より一層厳しくなっております。本市の管路については、人口急増に伴い水道の普及が急務であった昭和40年代から50年代にかけて布設されたものが多く存在しており、その耐震化も含め、順次老朽化した管路を更新していかなければならない時期を迎えております。

これらを含む水道施設の更新には多額の財源が必要となりますが、その確保に大きく影響する水需要は、少子高齢化に伴う給水人口の減少や節水機器等の普及により、年々減少しており、今後も緩やかに減少していく見込みとなっております。

そこで、第2次アクア計画 C-21を改訂し、「未来へつなぐ 安全・安心な水道水」を基本理念とする「かいつか水道ビジョン2019」をとりまとめることといたしました。市民生活に欠かせないライフラインでもある水道を持続的・安定的に供給していくため、現状を分析、評価したうえで、中長期的な視点で目指すべき将来像を描き、施設整備計画を作成するとともに具体的な取組みを検討しました。また、経営健全化と経営基盤の強化に取り組むため、新たに「経営戦略」の要素を取入れ、水道施設に関する投資とその財源見通しを試算し検討を重ねました。

本ビジョンは、本市水道事業を次の時代へつなぐための指針としてお示しするものであります。今後とも、皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 6月

貝塚市水道事業

貝塚市長 **藤原 龍男**

目 次

第1章 ビジョンの位置付けと目標	1
1 - ① 位置付けと計画目標年度	1
1 - ② 目指すべき将来像	2
第2章 事業の概要	3
2 - ① 貝塚市の概要	3
2 - ② 水道事業のあゆみ	5
2 - ③ 給水人口・給水量	6
2 - ④ 配水系統	7
2 - ⑤ 給水区域と水道施設の概要	8
2 - ⑥ 水道管路の概要	12
第3章 事業の現状と課題	14
3 - ① 第2次アクア計画C-21の取組状況	14
3 - ② 現状評価・課題の視点	15
3 - ③ 安全な水の供給は保証されているか	16
3 - ④ 危機管理への対応は徹底されているか	23
3 - ⑤ 水道サービスの持続性は確保されているか	32
第4章 将来の事業環境	43
4 - ① 給水人口の予測	43
4 - ② 水需要の予測	44
4 - ③ 給水収益（料金収入）の見通し	45
4 - ④ 施設の見通し	46
4 - ⑤ 組織の見通し	48
第5章 具体的な取組み	49
5 - ① 主要施策	49
5 - ② 【安全】 安心して飲んでいただける安全な水道水の供給	50
5 - ③ 【強靱】 いつでも使っていただける水道水の確保	52
5 - ④ 【持続】 ずっと信頼していただける水道事業の確立	55
第6章 投資・財政計画	58
6 - ① 投資計画	58
6 - ② 財政計画	59
おわりに	61
用語集	62

